



さんむ 21
いしかわ
かずひさ
石川 和久
議員

防犯対策の充実について

問 平成28年度のLED防犯灯整備事業の状況はどうか。

答 市民部長 LED防犯灯の設置件数ですが、平成28年度は530基です。内訳は、新設が57基ありました。これにより、LED防犯灯の累計は6615基になり、防犯灯の総数は7856基で、LED防犯灯設置率は84.2%となりました。

問 緊急箇所の対応についてはどうか。

答 市民部長 新規設置については、計画的に設置するため、原則、区・自治会長から要望をいただいた翌年度としていますが、犯罪の発生や交通事故が多いなど、防犯上、緊急性がある場合については、予算の範囲内で、

申請年度中に設置をするなど、柔軟な対応をとっています。

問 要綱の一部を改正し、全てを年度内に早期に対応する必要があると思うがどうか。

答 市民部長 今までは、区や自治会からの新設要望について、確実に実施するために、前年度に要望をいただき、翌年度に設置するというやり方をしてきました。ただ、議員のお話のように、年々設置の数も安定してきているという状況においては、もう少し柔軟な対応もとれるのではないかと思います。平成30年度以降については、近隣の設置の手順や状況を参考に、早期設置の実現について、検討してい



LED防犯灯

きたいと考えます。

問 防犯カメラ設置等に関する要綱を作成して、施策事業として取り組む必要があると思うがどうか。

答 市民部長 市民が安心して、安全に暮らせるまちづくりを目指し、防犯カメラによる犯罪抑止と市民等のプライバシーの保護の両面の観

点から、現在、防犯カメラの設置及び運用に関する条例の平成30年4月制定に向け、準備を進めているところです。

また、区や自治会が犯罪防止のために、自主的に設置する防犯カメラに対する補助を行うため、防犯カメラ設置補助金交付要綱の制定についても併せて準備を進めています。

通学路の安全対策について

問 通学路交通安全プログラムでは、合同点検時に、重点課題を設定するとあるが、合同点検時の重点課題とは何か。

答 教育部長 重点課題ですが、各学校から要望された緊急を要する危険箇所を優先順位の高い課題です。通学路



通学路交通安全プログラムで施工されたグリーンベルト

交通安全プログラムでは、この重点課題解消を中心に、重点課題以外の課題も含め、各関係機関と連携し、解決を図っているところです。

問 把握されていない危険箇所があるが、今後の対応についてはどうか。

答 教育部長 通学路の危険箇所については、PTAや地域の方々は、

の協力をいただきながら、学校からの情報を集約しているところですが、今回ご指摘のように、危険箇所としての情報が把握できていないところもありましたので、今後、学校や関係機関との連携を、さらに密にしながら、多くの情報収集に努め、児童・生徒が安心して通学できるように取り組んでいきたいと思っております。